

令和7年度 こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質向上に努めて参ります。

- A：たいへんよい
- B：よい
- C：一部検討を要する
- D：改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか		○			・理念や基本方針については年度初めの職員会議や園内研修において説明を行い、職員に周知している。また、保護者アンケートの結果より9割の方にある程度伝わっていることが分かった。昨年より、職員間でも理念や教育方針を共有してきたため、職員の周知が深まったと感じる。今後も職員間で確認しあう機会を持つと共に、利用者に向けては分かりやすく伝え周知を目指したい。 ・今年度は「人権擁護のチェックリスト」の活用を増やし、子どもの人権や普段の保育について振り返り話し合う機会を持った。話し合いの中での気づきを共有し合い、丁寧な保育を心掛けた。今後も、定期的に振り返りを行い、職員間で確認し合いながら子どもへの関りを丁寧に行っていくようにしたい。
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか		○			
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性などを考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○			・教育保育の計画は園の理念・方針に基づきながら、子ども一人一人の発達や興味を捉え、計画を見直し作成している。今後も、子どもの姿を大切にしながら作成をしていきたい。 ・民営化をして1年が経ち、職員一人一人が湯野こども園の特色を知ってきたように感じる。その中で、これまでの湯野こども園の特色を大切にしながら日々の保育とつながっていくよう心掛けた。行事の内容や実施の仕方についても、子どもたちの今の姿に目を向けてその都度話し合い、内容や実施の仕方を工夫して行った。来年度も職員の話し合いの場を大切にすることで子ども理解を深め、子どもたちの成長を見据えた指導計画を作成し、日々の活動や行事の取り組みを行っていききたい。
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3) 子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか		○			
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	○				・クラスの職員間ではコミュニケーションをとり、子どもの姿を共有することが出来た。園全体で子どもの姿を周知出来るよう、職員会等で共有の時間を設けるようにしたが、まだ周知が不十分であると感じる。園全体で子どもたちを見守れるよう、定期的にチーフ会を行う中で共通理解を深め、子どもの発達を援助していきたい。 ・新園舎になり、畑や田んぼなど豊かな環境が整った。今後は、子どもたちがたくさんの経験を積めるよう地域の方々とながりをもち、栽培や食育活動に取り組んでいきたい。 ・給食調理員と保育者が連携して、行事や伝統文化と食をつなげ、豊かな心が育まれるようにしている。また、ランチルームでの食事を通し、子どもたちが食事に意欲を持てるような環境作りをしている。 ・子どもの興味に合わせて主体的に活動出来るように工夫している。子どもたちの遊びがさらに発展していけるよう保育者が丁寧に子どもたちの心情を読み取り、観察し、環境を工夫していけるようにしたい。
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか		○			
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか		○			
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか	○				
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか		○			
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			
	(9) 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育んでいけるよう、継続的な信頼関係が築かれているか		○			

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
	(10) 保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			<ul style="list-style-type: none"> ・配慮が必要とされる子が安心して過ごせるよう、今後も職員間の共通理解に努めるとともに、こども相談ステーション含め専門機関と連携を図り、個々に合った支援方法をしっかりと学んでいきたい。 ・今年度はスタートカリキュラムを基に湯野小学校との連携を行なった。小学校の先生方に園での子どもの様子を三度見に来ていただき、情報共有を行った。また、交流会を通して小学校への期待が持てるようにしている。保護者とは、就学に向けて気になることがあればいつでも話し合う機会を持つと共に個人懇談やクラス懇談も行い、就学前の不安解消や子ども理解に努めている。
	(11) 障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○			
	(12) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されているか		○			
保護者に対する支援	(1) 子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか	○				<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は保育参加、クラス懇談（0歳児以外）、個人懇談（以上児）を開催することができた。0歳児クラスにおいては、発達の差があることからクラス懇談会を行わず、保育参加の中で個々に子どもたちの様子を伝えたり保護者の悩みを聞いたりするようにした。保育参加やクラス懇談を通して保護者同士の話し合いができたことと喜びの声が聞かれた。子育ての悩みを打ち明けられる場所や仲間との出会いの機会となるため、今後も園が体制づくりを行っていくことが大切であると感じた。 ・園開放「どんぐり」が開催され、地域の子育て支援の拠点として、子育ての相談や交流の場の提供、子育て情報の発信を行い、地域の子育て家庭が気軽に利用できる環境づくりに努めている。
	(2) 虐待に対応できる園内の体制（医療機関、児童相談所など専門機関との連携）の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
	(3) 地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか		○			
教育保育を支える組織的基盤	(1) 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか		○			<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が疾患や衛生に対し共通理解が出来るよう心掛けた。嘔吐処理についても看護師が専門性を活かして周知を行った。感染症が流行った際は看護師が感染予防対策を職員に周知しているが、対策を行っても感染症の拡大を防げないことがあった。今後は、玩具や保育室の消毒等細部までしっかりと共通理解を持ちながら行っていく事で、一人一人がさらに衛生管理に関する意識を深めるようにしたい。 ・毎月、安全点検や避難訓練を行い災害時に備えている。今年度は新園舎での生活が始まったため、新しい環境下でも子どもも職員も安全に避難できるよう話し合いを重ねた。今後も、様々な災害を想定して避難訓練を実施し、職員間で共有していきたい。 ・職員一人一人が質の向上を図る為、研修に参加をし自己研鑽に努めた。 ・事業計画については、ホームページに掲載されているが、すべての利用者に周知されていない。計画作成のみにとどまらず職員会等で話題に上げ、全職員が十分理解し取り組む必要を感じた。また、保護者の方にも園だより等でホームページに記載されていることを伝えていけるとよい。 ・苦情解決の仕組みについては、保護者には十分伝わらなかった。次年度は園だより、ホームページで第三者委員や苦情解決の窓口等をお知らせし、周知を図っていく。 ・全職員が年3回自己評価を行い、自らの保育を振り返り、取り組むべき課題を明確にし改善を行っている。
	(2) 体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	○				
	(3) 避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか		○			
	(4) 地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか		○			
	(5) 施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努めているか		○			
	(6) 研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			
	(7) 事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8) 事業計画が利用者に周知されているか		○			
	(9) 守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか		○			
	(10) 個人情報適切に取り扱るとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか		○			
	(11) 苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか			○		
	(12) 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13) 保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			
	(14) 個人の評価結果に基づき、組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			

湯野こども園の評価結果に対する意見・コメント

自己評価から、民営化より一年たち、職員一人一人が湯野こども園の特色を知り又その特色を日々の保育につなげていったことや、行事の内容や実施の仕方についても子どもたちの姿に目を向けて、職員間でその都度話し合いされ、工夫されたようで職員の皆様の努力が感じられます。昨年度も感じたのですが、スムーズな移行期間を過ごせたのかなと思います。公立時代を美化しいろいろ言ってくる保護者の方もいると思うのですが、アンケート結果をみるかぎり満足されている方が大半なので職員の皆様のチームワークや向上心、共通理解があったんだなと思いました。

今後も園内研修等で、職員全体で何事も共通理解し湯野こども園らしい教育・保育を目指して下さい。

令和 8 年 3 月 10 日

役職等 監 事

氏名 嘉藤 恵子



湯野 こども園の評価結果に対する意見・コメント

○全体的に教育・保育の質の向上に努めていることがうかがえる。

- ・日常の保育について振り返りや気づきを共有し合い、丁寧な保育に心掛けているようだ。
- ・新園舎の特色を活用しつつ、日々の保育にあたっている。
- ・健康、安全、食育など専門家の協力や自己研鑽にも努めている。
- ・公立から法人園になり、保護者からは色々な変化から指示事項があるが、園長として適格な回答がなされている。

○アンケートの意見では、個別に指示事項があるので、保育士一人一人の意識を持つ園内研修があるとよいのではと思う。

令和8年3月11日

役職等 監事

氏名 中田 眞知子



湯野こども園の園の評価結果に対する意見・コメント

民営化2年目を迎え、新園舎での生活も始まり、新たな環境の下での教育・保育がスタートしました。新園舎への期待が大きいだけに、保護者だけでなく職員にも戸惑いを生ずる場面もあったのではないかと想像されます。

そのような状況の中でも一つ一つの課題に対して真摯に向き合い、職員間の連携（話し合い、共有、確認、共通理解など）によって、湯野こども園としての教育・保育を進めていると思います。

利用者アンケートの結果については、保護者の意見や要望に対して園としての考え方を丁寧に伝え、園がどこまで応えることができるのかを明確に示している点が素晴らしいと思います。

今後ますますの研鑽に期待します。

令和 8年 3月18日

役職等 監 事

氏 名 森 和 美

